

指導の形態 教材等	自立活動「構音の指導」 ～「カ」行の発音指導のポイント～	障がい種 等	通級指導教室 言語障がい
--------------	---------------------------------	-----------	-----------------

授業の概要やよさ

- ・ 構音点法、舌押さえ法、絵カード、音読などの指導方法をいくつか準備し、それぞれ短時間ずつ扱い、飽きないで学べるようにした。
- ・ S Tの言語訓練や、web サイト国立特別支援教育総合研究所の資料を参考にし、本児の実態に合う教材を使用した。

児童生徒の様子

- 小学校3年男子A
- ・ 年度当初は、「カ」「タ」「サ」行全般にわたって構音障がいが見られる。(さかな→さたな、ほうき→ほうち、テレビ→エレビなど)
 - ・ 「タ」「サ」行については半年ほどで改善できたが、「カ」行についてはなかなか改善できない。

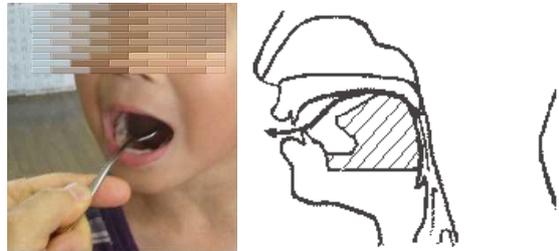


目標

- 「カ」行の構音障がいの矯正
- ・ 「カ」と「サ」、「キ」と「チ」など、同列の置換による発音の誤りを改善する。
 - ・ 発音器官の運動機能や聴覚弁別力を高めるとともに、正しい構音方法が分かる。

支援のポイント

- 全体的な工夫
- ・ 「カ」行の口形を教室に常掲するとともに、鏡で自分の口形を見ながら行う。
 - ・ 構音点に舌がうまく付かない時は、スプーンを使った舌押さえ法を取り入れる。



○学習活動の工夫

- 1. うがいをしよう**
顔を上に向けて、奥舌でしっかり水を止めてガラガラうがいをする。
- 2. どの音かな**
よく聞いて、先生がどの発音をしたのか文字カードを選び取る。
※誤ったカードを選んだ場合は正しい発音を復唱させる。うまくいかないときは、スプーンで前舌を押して奥舌を持ち上げ正しい発音を誘導する。
- 3. 写真と同じようにやってみよう**
「か」行の口形の写真と、鏡の自分を見比べながら、舌の位置に気をつけて発音する。
※発音しやすい、か→こ→く→け→きの順番に指導する。
- 4. 絵カードを読もう**
※発音しやすい順番、語頭→語尾→語中の順に扱う。(からす、すいか、みかん等)
- 5. 文を読んでみよう**